

観音寺中学校 道徳通信 9月号

朝夕は少しずつ涼しい風が吹き、秋の訪れをわずかながら感じられる気候となりました。さて、夏休みが明けて新学期が始まりましたが、9月は行事の準備などもあり、学校生活が賑やかになる時期です。忙しい毎日だからこそ、道徳の時間を通じて、心をほっと落ち着かせて考える時間を大切にしていきたいと思います。

今回は、3年生の授業を紹介します。「私たちの合唱祭」という教材を通して、よりよい合唱コンクールをつくるために大切なことについて考えました。

「私たちの合唱祭」【内容項目】学校生活、集団生活の充実

果歩の学校では例年、合唱祭はコンクール形式で開かれていたが、去年は会場の都合で発表会形式となった。最優秀賞を目指す果歩たち3年生に対し、先生から「今年の合唱祭をコンクール形式にするか発表会形式にするか、3年生に意見を聞きたい」という申し出があり、クラスで意見を出し合った。様々な意見を聞いた果歩は「合唱祭は何のための行事なのだろう。よりよい合唱祭の在り方とは。」と考える。

授業の感想（生徒記述より）

みんながやり切るためには、みんなが同じ目標を持てば良いと思います。みんなが1つの目標に向かって、結果よりも良いものを得られたらいいなと思いました。

クラスみんなが1つになり、お互いに良いところや悪いところを伝え合ってより良くなっていったらいいなと思った。自分の目標を立て、家でも練習すれば、すぐに上手くなっていくと思ったから、これから優勝を目指して頑張りたい。

1人1人が本気で取り組み、分からない所はちゃんと周りの人に助けってもらって、最後まで諦めずに全力で取り組むことが大切。声を掛け合い、1つの目標に向かって全員が協力し合うようにする。

よりよい合唱コンクールをつくるために大切なことは、クラスで団結して高めていくことと最後まで諦めないことだと思いました。そのためには、一人一人が励まし合ったり、声かけを行ったりすることが大切だと思います。歌の完成度と絆の強さの二つとも高めたいです。

1人1人がクラスの一員という自覚を持って真剣に取り組むことが大切だと思います。ただひたすら歌う練習をするのではなく、楽しいと思えるようにアドバイスをし合うことも大切だと思います。

はじめは、合唱コンクールは歌うだけだと思っていたけど、授業を通して、合唱コンクールはみんなで協力してみんなが一致団結するためにやるんだと学びました。合唱コンクールをよくするために、まずは自分が全力で歌うことが大切だと思いました。

合唱コンクールをつくるために大切なことは、一人一人が自信を持って歌うことや、もし分からないことがある時は友達・先生に聞いて協力することだと思った。そして、最優秀賞が取れなくても、これまで練習で一つになってきた団結力は無駄じゃなかったと、終わった後に言えるぐらいにこれから頑張りたい。

協力して全ての人が本気・全力で声を出して、真面目な雰囲気をつくり、歌いやすく失敗したとしても気分を悪くしたりしないような雰囲気をつくるのが大切だと思いました。



道徳通信 7月号の返信より

- ・ 自らの危険よりも他者の命を大切にするという杉原さんの強い思いや使命感に心打たれました。杉原さんのような勇気ある行いはできなくても、日常の中で些細なことでも助けを求める人がいたら自然に手を差し伸べられる大人になってほしいと思いました。
- ・ 実際嫌な思いをした事があると言っていたことがあります。多感な年頃ですし男の子は特に言葉使いは荒くなる事もあると思います。自分が言われたらどう思うか？を考え、言葉も凶器になる事を知ってほしいです。
- ・ 自分の信念を貫いたことはとてもすごいと思いました。何か一つでも自分の信念を持ってもらえたらなと思いました。

ご返信、ありがとうございました♪

ご感想やご意見がございましたら、LEBER（リーバー）のアンケート「返信欄」にてお気軽にご回答ください。たくさんのご返信をお待ちしております。